

こどもの城

ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2002.11.15 No. 133 発行／(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



H A T U R A T U
はつらつ

フィリピンでいちばん人気のスポーツを知っているかい？ 住宅地でも路地裏でも、かならず目につくのが、バスケット用のゴール・ポストなんだよ。
マニラの下町の夕暮れ。学校帰りのぼくたちは広場に集まり、おチビの小学生から中学生の大きな子までがいっしょになって、汗を流し歓声をあげて、一つのボールをうばいあうんだ。
近所の人みんな親せきのようなつきあい。差し入れの冷たい飲み物がいよいよ。
(写真・文 平早 勉)

(こどもの城)のプレイホール

楽しみ方いろいろ“遊びの空間”

【こどもの城】に遊びに来た人たちの多くが、最初に訪れるところ——それが3階のプレイホール。面積は約765㎡で、地下2階にある体育室の2倍ほどの広さ。とんだり、はねたり、走ったりして体を大きく動かす遊び、絵本を読んだり、ままごとやブロック遊びなどのように落ち着いて楽しむ“静かな遊び”、一人でできる遊び、みんなが集まってする遊び——さまざまなタイプの遊びを小さい子から大きい子までが、それぞれに楽しめるように考慮した“遊びの空間(遊び場)”が用意され、毎日、子どもたちの元気な声があふれています。



プレイホールの真ん中に“集いの広場”

プレイホールの中央には“集いの広場”があります。曜日を決めて毎週行われている小さな子向けのプログラム、節分やひなまつりなど季節の歳時記にちなんだプログラムが行われています。“広場”の名前どおり、多くの人が集まって楽しむいろいろなプログラムが行われています。

人形劇や紙芝居の舞台を囲んでみんなで見入ることもあれば、テーブルを並べて折り紙を楽しんだり、ゲーム大会でもりあがることもあります。“集いの広場”は曜日や時間、集う人々にあわせて、さまざまな使われ方をしています。いろいろな形で使うことが“集いの広場”の楽しさを広げていきます。

【こどもの城】のスタッフやボランティアが用意した遊びのプログラムに参加することもあれば、“そこにあるもの”“その場所”を使って自分たちの遊びを楽しむこともできます。



■プレイホールの主な週間プログラム■
「みんなのこここ広場」(水曜日)、「おりがみあそび広場」(木曜日)、「金曜開店!あそびやさん」、「絵本の読み語り」(第3金曜日)、「マックロー人形劇場」(月1回・土曜日)、「パネルであそぼう」(第2・4日曜日)など。

たたみ敷きの“幼児コーナー”

たたみとカーペットが敷きつめられた“幼児コーナー”には、絵本やままごと道具、ボランティア手作りの抱き人形などが置かれています。



小さい子が安心して遊べるように、背の低いパーティションで他のスペースと仕切られています。床の上にすわりこんだり、ねっころがたり、ゆったりと親子で遊びを楽しむことができます。

幼児サイズに合わせて作られた本格的なキッチンセットがあるので、クッキング遊びからお店屋さんごっこへと遊びが広がっていくことがあります。“そこにあるもの”を使って、子どもたちが遊びを作っていきます。

体を動かし“きそう”遊びができる低学年向けコーナーも

小学校に入るくらいの年齢になると、活発に体を動かして遊ぶようになります。サッカーやバスケットボールのミニゴールなどが置かれたコーナーでは、親子や友だちとシュートをきそう遊びができます。“きそう”ためには、ルールのようなものも必要になります。新しい要素が加わり、遊びが広がっていきます。

※このコーナーは“集いの広場”で行われるプログラムの関係で、遊び道具をかたずけてしまうこともあります。

冒険の舞台——わくわくらんど とんだり、もぐったり “動き”のある遊びを楽しむ

“わくわくらんど”は、ネットブリッジ、チューブのすべり台、トンネル、秘密の部屋などが組み合わさった、木製の大きなアスレチック。3歳から10歳くらいの子もたちが、体を動かしてダイナミックに遊ぶことができます。

足元が不安定なつり橋を渡ることも、子どもたちにとっては、ひとつのチャレンジ。渡りきったと思ったら、大きく口を開いたチューブのすべり台の入口、ほら穴のようなすべり場所もあります——子どもたちは、野を越え谷を渡って冒険の旅を続けるように、“わくわくらんど”のさまざまな遊具を乗り越えていきます。いろいろな空想をしながら、体を動かして活発に遊ぶことができます。



ゲームをとおして仲間と遊ぶ “高学年コーナー”

ビリヤードに似たバンパー、ホーリングなどの室内ゲームが置かれた“高学年コーナー”。小学校4年生以上の子どもたちのための遊び場です。子どもがリーダーなら親子でも遊べます。

ルールがかんたんで、しかも始めてみると熱中してしまうようなゲームが置いてあります。共通のルールがあるので、初めて会った人とも、すぐいっしょに遊ぶことができます。人と人とのふれあい・交流が自然にできるような“遊びの環境”になっています。

バンパーの人気は高く、年2回大会を開いて、熱戦をくりひろげています。



年齢や遊びの種類で“すみわけ”で配置

活発に体を動かす遊び、折り紙遊びなどのような“静かな遊び”、小さい子向けの遊び、大きい子向けの遊び——いろいろな遊びが、プレイホールという広い部屋のなかで、互に行き来ができるようになっていながら、それぞれの遊びをじっくり楽しめるように“すみわけ”されて配置されています。プレイホールは、【こどもの城】の“遊びの入口”になっているのです。

遊びへの興味・関心が高まってくると、より“深く”遊びを楽しみたくくなります。そのときには、造形スタジオや体育室、ビデオライブラリー、音楽ロビーなどに行って、専門のスタッフとスポーツ・造形・音楽・映像遊びなどを楽しむことができます。

年齢や子どもの興味・関心にあわせて、いろいろな遊びが楽しめる場所——それが【こどもの城】です。

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE **FUJITSU**

根っから、グリーンです。

きれいな花も豊かな実りも、いい根っから。
環境に配慮したモノづくりは、いい部品から。
富士通は、部材の調達からグリーンです。
環境に配慮した製品をお客さまにおとどけるには、環境負荷の低い部品や材料を調達することが、とても重要になります。
富士通では、こうした部材を購入するため、独自のガイドライン「富士通グループ グリーン調達基準」を設け、主に化学物質の規制、リサイクルのしやすさ、省エネルギー対策などの基準値をクリアした部材の調達につとめています。
富士通のモノづくりは、厳しい基準をクリアした部材の調達から、はじまります。

すべてをグリーンに

グリーン調達から環境を考える話

富士通株式会社 環境本部
〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 TEL.044-754-3413
©富士通の環境広告シリーズは、こちらをご覧ください。 ad.fujitsu.com

02 Member of Sustainability Indexes

富士通、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ株式指標の環境分野で3年連続1位。

富士通は、2001年米国ダウ・ジョーンズ社によるサステナビリティ株式指標のコンピュータ部門で3年連続トップにランキングされました。特に、環境への理念や経営姿勢はもろみ環境会計の実施、グリーンプロダクトの開発、ゼロエミッション工場の実現など、環境分野での活動が高く評価されたためです。
＜ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ株式指標＞世界314国・2500社の中から抽出したトップ企業約300社を対象に、持続可能な企業の株価指標を1999年より毎年発表。環境、社会、経済の3分野から企業の持つ持続可能性(Sustainability)をはかり、将来にわたる企業が存続、発展可能かを判断する指標として注目されています。

こどもの城となかまたち

51人が参加してこどもの城児童厚生員等実技指導講習会 遊びを教えすぎない。自分で発見したりできると、もっと楽しくなる。

北海道から鹿児島県まで全国の児童館・児童センターから51人が参加して、平成14年度第2回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が10月23～25日に「こどもの城」で開かれました。今回のテーマは「古いけれど新しい～伝承遊び徹底研究」。

あやとり遊びでは、みんなが知っている「ほうき」「はしご」などではなく、集団で楽しく遊べる遊び方を紹介。両手で

つかんだりひもを巻くことひもの間をぐるぐると通してとると、同じ形になる「おとこあやとり」。二人ペアになって、決められた時間内に何回できるかを競ったり、どのグループが早くリレーできるかを競ったりするあやとり遊び。とり方はかんたんなので、だれでも遊べます。

また、あやとりをしない(?)遊び方も紹介されました。全員があやとりひもを持って、お手玉のように丸めて隣の人に渡していくゲーム。渡すひもはほとんど増えています。次は、逆方向の流れで自分のひもを取ってから隣の人に渡していきます。

できた形にいろいろ名前がつけられているように、あやとりには「見立て」の要素があります。「さかさご」も、逆さにして見れば「かご」に、頭の上に乗せて角を突き出すようにすれば「おに」になります。あやとりひもを使った「見立て遊び」も紹介してくれました。

首に巻いて「ネックレス」、鼻からたらし「はなみず」というように、数人の



いろいろな遊びの一つ「おふろ」を実演してみせる有木所長

グループで順番に、あやとりひもを使って「何か」を見立てていきます。自分のイメージを広げるだけでなく、他人の思いがけない発想に驚かされたり、感心したりします。このほかにも、無造作に落としたりしたひもの形を見て何に見えるかを言い合う遊び、ひもで作った図形を山や家に見立ててその場でお話を創作する遊びもありました。

いろいろな遊びというのは、小学校低学年ぐらいの子どもがする遊び、体が大きいほうがい遊び、小さいほうがい遊び、力がある遊び、注意力や集中力が必要とされる遊びなど、いろいろな遊びがあって、負けた子どもが次に自分の得意

な遊びを選んでいくから「いろいろ遊び」。ケンケンしたり、しゃがんで歩いたり、体を押したり、踏ん張ったり——バランスや安定をとるときの基本となる動作が含まれている遊びを中心

に、数種類の遊びが紹介されました。ケンケンの人としゃがんで歩く人が倒し合う「つるとかめ」、両腕で大きな輪を作ってしゃがみ、その体に触らないように輪の中に入れて出てくる「おふろ」、座った鬼の足を鬼が決めたお店にあるものを言いながら飛び越える「おみせやさん」など。体を動かす遊びが少なくなっている、ぜひ蘇らせたい遊びのひとつ。

「遊びを教えすぎない。自分で発見したりするほうが、もっと楽しい」と有木所長。「遊びのなかには、がまんしなければならないこともあるが、みんなが協力できたりすると楽しくなる」。豊かな

発想を引き出しながら、子どもたちが工夫や考える力、そして「できるんだ」という自信を身につけていけるように、伝承遊びの魅力をおして遊びの大切さを伝えてくれました。

2日目は、日本民謡博物館(名古屋市の藤田由仁館長が講師。こま、べーごま、ディアポロ、けん玉、竹がえし、まりつき——もりだくさんメニュー。「伝承遊びは、ちょっとだけ考える余地を残してきている」と藤田館長。その余剰が伝承遊びのよいところ。こま回りで、こまが落ちていったとしても、同じことが3回繰り返せれば、それは「技」。こうでなければならぬ、というのでは

なく、自分なりに遊びを作ることができると、かっこ悪い——と考える人が多くなり、一歩が踏み出せなくなっている。やってみよう——と一歩を踏み出す気持ち

ち＝勇気子どもたちに持たせてあげたい。その手段のひとつが伝承遊び。伝承遊びのなかの「技もの」というのは、できたときの達成感が大きい。子どもたちが自信をつけるものを、なにか一つ探してやる。そのためには指導する側が、たくさん引き出しを持っていてほしい」と、伝承遊びの意味を藤田館長が説明したあと、それぞれに伝承遊びに取り組みした。

最終日の25日には、日本折紙協会の津留見裕子師範が、催し物などの遊びのプログラムとして利用できる「金魚」「おすもうさん」などの伝承折紙の折り方を指導しました。



ひもをまいて、投げる——こま回りの基本を藤田館長が指導

あそびのおもちゃ箱 11月23・24日(フリーホール) ボランティアが合同で人形劇やパネルシアターなどの公演と人形遊びのワークショップ

「こどもの城」で活動している青年・女性ボランティアが集まって「あそびのおもちゃ箱」を11月23・24日の2日間、地下1階のフリーホールで開きます。人形劇や影絵、パネルシアター、紙芝居、サンパなどの公演、トコトコ人形で遊ぶワークショップなど、「おもちゃ箱」からいろいろな遊びが飛び出してきて、ボランティアといっしょに、人と人とのふれあいを大切にした遊びの世界を楽しみます。

って遊びのプログラムを企画・運営したり、幅広く活動しています。「あそびのおもちゃ箱」では、定期的に集まって人形劇などを練習・公演しているグループが集まって、日ごろの活動の成果を披露します。ふだんは、活動する曜日が異なるので顔を合わせる機会が少なく、各グループのメンバーにとっても、互いの活動の様子を知る交流の場にもなっています。

【こどもの城】では、400人を超えるボランティアがさまざまな形で活動しています。毎日の遊びのプログラムや講座・クラブ、野外活動(キャンプ)などで、スタッフと参加する子どもたちとの間に立ち、豊かな遊びが展開できるように働きかけたり、ボランティア自身が中心とな

【23日】女性ボランティア人形劇(11時30分)／影絵(12時30分)／ワークショップ(1時～1時45分)／パネルシアター(2時)／紙芝居(3時)／スペシャルユニットの人形劇(4時)
【24日】パネルシアター(11時30



全国児童館館員が作品展が十月二十六日から十一月十七日まで「こどもの城」ギャラリーで開催されています。今回のテーマは「私たちの街」。

分)／女性ボランティア絵本(12時30分)／ワークショップ(1時～1時45分)／青年ボランティア人形劇



ハロウィーンに先がけて十月二十四日に、幼児グループの子どもたちが、おもいおもいの仮装をして「こどもの城」周辺を練り歩きました。

11・12月のBスタジオの催し

- 11月17日/12月15日 手作り楽器のワークショップ「フィルムケースの笛」1時30分～2時30分、3時30分～4時30分。フィルムケースを使って2種類の「鳥笛」を作ります。小学生1年生以上。定員30人。15分前から会場で受け付けします。
- 11月23・24日 不思議な映像実験室「絵がうごいて見えるおもちゃの展示とワークショップ」11時00分～5時00分。映画やビデオのルーツである「うごいて見えるおもちゃ(視覚玩具)」——ブラクジノスコープ、フリックブック、紙シネマ、ライトパノラマなど——の「さわって」見る展示とワークショップを行います。ワークショップの内容と時間は以下のとおり(時間内随時受け付け)。
 - ★「ソーマトロープ」＝11時30分～12時30分 ※表と裏に描いた絵が重なって不思議な円板
 - ★「フィルムに絵を描こう」＝1時30分～2時30分 ※撮影カメラを使わないで(カメラレス)作るアニメーション???
 - ★「はたばたアニメ」＝3時30分～4時30分 ※2枚の絵をビデオで撮影して作る簡単なアニメ。動いて見えるかな?
- 12月8日 こどもの城映画劇場「カナダのアニメーション」11時30分、12時30分、1時30分、3時30分。世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーション。「動き」や「音(音楽や効果音など)」から、登場人物の心の動きなどが理解できるように作られています。上映作品＝「マリー」(2分44秒・バルナド・ロンフレ監督)、「クリスマス物語」(7分59秒・イブリン・パート監督)、「クリスマス・クラッカー」(8分58秒・ノーマン・マクスラン監督ほか)

子ども歳時記「クリスマス」 12月3～25日

造形スタジオでは「子ども歳時記-クリスマス」(12月3～25日)が行われます。親子で作るコーナーでは「メクリマスカード」(写真左)、小学校2年生以上の子どもだけで作るコーナー(土・日曜日、祝日と24・25日)では「へんてこツリー」(写真右)を作ります。

健康スポーツ教室(太りすぎクラス) フィールドアスレチックで楽しく汗を流しました

健康スポーツ教室「太りすぎクラス」に参加している子どもたちと家族が、10月12日に平和の森公園(東京都大田区)のフィールドアスレチック(45種目)に挑戦。秋晴

おひさまおはなしコンサート～心をこめた贈り物～ 11月12日 青山円形劇場 家族ご招待

絵と音楽をバックに、語りやプロフェッショナルである声優が絵本を読み語る「おひさまおはなしコンサート～心をこめた贈り物～」が平成15年11月12日に青山円形劇場で行われます。主催は「こどもの城」、後援は社会福祉・医療事業団。

大きなスクリーンに映し出された絵本の場面をみながら、ピアノやパーカッションの生演奏をバックに声優が絵本の読み語りを行います。絵と

日中国交正常化30周年記念写真展 ニイハオ シャオポンヨウ 12月13日～1月13日 ギャラリー

日中国交正常化30周年を記念して、12月13日～1月13日に「ニイハオ シャオポンヨウ(こんにちは 小さな友だち) 岡本央写真展-中国の子どもたちからのメッセージ」が「こどもの城」ギャラリーで開かれます。広大な中国各地の子どもたちの姿(都会の子、農村の子、漁村の子、遊牧の子など)をとらえた約70点の作品が展示されます。会期中の12月14日には、中国の音楽を紹介する「ハートフルライブ」(1時と2時の2回)も音楽ロビーで開かれます。

「写真家・岡本央さんは、長年にわたって中国全土を旅し、子どもたちの一瞬一瞬の輝けるときの記憶をカメラに収めてきました。写真展を開くにあたって、岡本さんは次のようなメッセージを寄せています。

どこへ行っても、中国の子どもたちは元気いっぱいです。活力あふれる表情には、中国の将来をにやがりと自信、そして無限の希望が見て取れました。それは今、物質的豊かさのなかで育つ日本の子どもたちが失いつつある大切なもののように思えてなりません。子どもの好奇心に満ちた目の輝き、むくむく等々、そんな当たり前の子どもらしいかわいさを、私の写真を通じてあらためて感じていただくことで、「子どもにとって本当の幸せとは何か」を、大人が真剣に考える機会を提供できるのではないかと自負しております。そして、将来をにやがる子どもたちには、私の写真をきっかけに互いの国に興味を抱き、それが両国間の理解につながり、日中の深いきずなを築くことを希望してやみません。

おりがみにつよくなる講習会開く

「おりがみにつよくなる講習会」が10月27日と11月10日に開かれました。「おりがみカーニバル」開催に併せて毎年行われているもので、児童館や保育所などで指導にあたる人などが多数参加しました。

27日は、初心者コース。「おしゃべりからす」など数種類の折り方を教わるうちに、自然と基本となる折り方のいろいろを身に付けることができました。

- 公演日時 ■平成15年11月12日 ①午後1時 ②3時30分
- 応募資格 ■3歳以上の子どもとその保護者。家族単位で人数は自由(3歳未満は入場できません)。
- 申し込み方法 ■希望公演時間/観覧希望者全員の氏名(ふりがな・続柄・年齢)/合計人数/住所/電話番号/返信用はがきに代表者の住所氏名(宛て名)——を記入のうえ、往復はがきでお申し込みください。応募多数の場合は抽選
- 受け付け ■11月15日～12月15日(当日消印有効)
- 宛て先(問い合わせ先) ■〒150-

「こどもの城」の講座・クラブ 12月6日午前10時から先着順に受け付け

平成15年1月から始まる「こどもの城」の講座・クラブの受講生を募集します。募集するコースの内容・開講日など、詳しいことはアトリウム総合案内講座・クラブ受付係【☎03-3797-5666】へお問い合わせください。12月6日午前10時から、先着順に受け付けします。

青山劇場 INFORMATION

- The Kiss of an Invisible Man 透明人間の恋(ゆけ) 11月16日～12月1日 11時30分、A席=7,500円(間)03-3372-6207
- シアター・ドラマシティ ダンス・アクト・シリーズ vol.3「スターダスト in 上海」 12月6～8日 11時30分、A席=6,300円(間)06-6377-3888
- 鬼太郎 12月14日 11時30分、A席=5,000円(間)03-3201-8116
- 25th ANNIVERSARY 渡辺真知子～大切な順番～ 12月15・16日 11時30分、A席=6,500円(間)03-3498-9999
- 嵐木一郎 12月19日 11時30分、A席=6,000円(間)03-5778-4855
- 占内東子 12月20日 11時30分、A席=5,500円(間)03-5436-9600
- 松居慶子クリスマス・コンサート 12月21日 11時30分、A席=7,000円、B席=6,500円(間)03-3479-2245
- アニメクリスマスコンサート～サタクロースの宝物～ 12月22・23日 11時30分、A席=5,000円、B席=4,800円(間)03-3498-9999
- 「クリスマスプレゼント」 12月25日 11時30分、A席=5,000円、B席=3,500円(間)03-3227-0279
- 「プリアット2 光り輝く美しいレディたち」 12月26日 11時30分、A席=8,000円(間)03-3201-8116
- スーパーエンターテインメントステージ「RED」 12月28日 11時30分、A席=7,000円、B席=5,000円(間)03-5475-3480
- 青山円形劇場 ●アキコ・カンダ モダンダンス 100ステージ達成記念公演「バルバラを踊る」 11月22～24日 11時30分、A席=4,000円(間)048-645-6551
- 岩下徹ツラノダ「放たれ」 11月26日 11時30分、学生=2,000円(間)075-581-6236
- 創作舞踊 11月30日・12月1日 11時30分、A席=5,000円(間)0429-72-2218
- 「ア・ラ・カルト」～役者と音楽家のいるレストラン 12月6～26日 11時30分、A席=6,000円(間)03-3797-5678
- 第15回こどもの城・キリン・ファミリーオパレッタ「とびこみ絵本2」 2003年1月2～8日 11時30分、A席=2,800円(間)03-3797-5678

「子育てサークルリーダー研修会」参加者募集

平成15年1月16日と29日に「こどもの城」で

少子高齢化・核家族化がすすみ、地域全体で子育てすることの重要性が再認識され、各地で民間の非営利組織(子育てNPO)や互助的なサークルによる、子育て支援に向けた取り組みが活発に行われるようになってきました。これらの活動の一層の推進と内容の充実をめざして、厚生労働省とこども未来財団が主催し、全国8会場で「子育てサークルリーダー研修会」を開催しています。

平成15年1月16日と29日(2

こどもの城の開館時間(月曜日は休館)

【開館時間】 土・日曜日・祝日…10:00～17:30 火～金曜日…12:30～17:30 【お問い合わせは ☎03-3797-5666へ】

【入館料】 こども(3歳以上18歳未満)…400円 大人…500円